

スマホを持って 竜串海岸へ

新しくなった海洋館 SATOUMI を目的に竜串に行くのなら、ぜひ、すぐ近くの竜串海岸もじっくり見てもらいたい。スマホの解説アプリで、竜串海岸をまわれば、見える景色が変わってくるかも。

文 今井 悟 (ジオパーク専門員)

「何でもない景色」なんて存在しない。どんな場所であっても、土台となる大地、その上に存在する自然環境、そして人の暮らしが関わり合って生まれる物語が必ずある。それに気が付いたとき、きっと何か感じるものがあるはずだ。だから、「何でもない景色」なんてない。もちろん、竜串海岸や見残し海岸の景色にも物語が存在するわけだが、そのままだでも人の心を惹き付けるのに十分なほど美しいためか、多くの人が記念写真を撮って満足してしまっているような気がして、もったいないと思っていた。

景色に潜む物語を発見するためには、景色を作る要素を知る作業が必要だ。植物の名前、雲の種類、虫の声・・・

知れば知るほど、景色は鮮やかになっていく。最近では、ポケットタイプの図鑑や、生き物の名前を調べることができるアプリなど、発見の手助けをしてくれるツールが充実している。ところが、竜串・見残し海岸の主役である地層はと言うと、これがなかなか難しかった。竜串・見残し海岸で見えているのは砂岩という砂が固まってできた岩石がほとんど。図鑑などで岩石の名前を調べるだけでは、見える景色はそれほど変わらない。そこで、土佐清水ジオパーク構想では、竜串海岸と見残し海岸をもっと楽しむためのアプリを作成した。お手持ちのスマホやタブレットで QR コードを読み込むとアプリが起動して、自分の居場所と、竜串・見残し海岸を深く知ることができるポイントの位置、そしてその解説を見ることができるようになっている。観光に来た方だけでなく、地元の皆様にもぜひ利用して楽しんでほしい。

ただし、スマホは必ず立ち止まって操作していただきたい。例えばスマホに気を取られて足元を疎かにした結果、つまずいてしまったとしよう。バランスを失った身体は砂岩にぶつかり合いを挑むこととなるが、言うまでもなく敗北を喫して怪我を負うのは身体の方である。そして、手から宙へと飛び立ったスマホは、砂岩に打ち付けられて易々と破壊されるか、あるいは海底の堆積物になるであろう。竜串・見残し海岸が歩んできた約1700万年という地球の営みを前にすれば、人体も文明の利器もあまりに貧弱な存在なのだ。大切な身体とデータを守るために、歩きスマホはやめておこう。

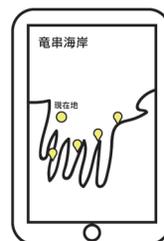
竜串海岸をより楽しむために

ガイドマップと解説板

竜串海岸をめぐるなら、まずは、うみのわに来て、左のガイドマップを手に入れよう。うみのわの他にも、竜串の観光施設や商店などにも置いているよ。それと、竜串海岸の入り口と桜浜、見残しの船着場の3箇所には、大地の造形美をより楽しむための解説板もある。これらを一読すれば、景色の見え方が変わるはず?! ガイドマップと解説板にも、それぞれQRコードが載っている。

QR アプリの使い方

QR さいんせんせ®



左の QR コードにスマホをかざして、読み込もう。これをブックマークしておいて竜串海岸の散策に出かけよう!

企画展

ウミガメ入門



竜串ビジターセンター
うみのわで開催!

入場
無料

9/5(土)~14(月)には
赤ちゃんウミガメを
展示予定!

期間 9月1日(火)~30日(水)

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB



facebook

